



第7回受賞作品

平成5年度

昨年に引き続き、バブル経済崩壊後の時期に建てられたものが多く、総合的にグレードの非常に高い作品は少なかった。今回の入賞3点のうち2点は一般向けの分譲住宅や賃貸住宅として計画されたものが社宅として利用されているケースであり、経済事情の変化がもたらした結果であるとはいえ、この住宅供給形態は優れたデザインを生み出す可能性を含んでいるともいえよう。

近年、賃貸住宅のデザインの水準が向上してきたことは喜ばしい。厳しい経営条件のなかで住戸や共用空間の居住性を確保し、周辺環境に適切に配慮した事例がいくつかみられた。入賞作品の中の1点がその代表例であり、事業関係者の熱意がうかがわれた。

デザイン、材料、施工などの面での質の向上に比べて、天井高、廊下幅、開口部長さなどのモジュールが相変わらず小さいため、全体に大変きゅうくつな雰囲気がある。日本人の体格が向上してきていることや、高齢者居住への配慮が必要なことも考え合わせると、モジュール面での抜本的な改善が要望される。



クロスオーバー (社宅)

商業ビルの並ぶ市街地の中で、ややもすれば画一的な表情になりがちな集合住宅のファサードを都会的なセンスで楽しい雰囲気に仕上げている。

十字路の一面に建つ立地をうまく活かした意欲的なデザインで、コンクリート打ち放しのフレーム、モザイクタイル貼りの手摺壁、ガラス面を重ねた被膜的な効果で、柔らかく繊細で彫りの深い外観を作りだしている。

二つの住戸群の間に光庭が配置され、共用空間へ光と風を導いている。住戸内や廊下、ロビーの細部にわたってうまくデザインされており、いい意味で遊びのある作品となっている。

外観を構成する部材が細かく複雑なだけに、今後の維持管理に十分留意して欲しい。



- 所在地：東淀川区東中島2丁目
- 事業者：日本住宅流通(株)
- 設計者：(株)田中啓文総合建築研究所
- 施工者：(株)岸組



ノアール玉川コート (賃貸)

密集住宅地の街並にうまく調和した、小規模な賃貸住宅である。

主としてワンフロアに1住戸で、中心に光庭を設け、その前後に「町家の離れ」のように分かれた空間を柔らかにカーブした渡り廊下でつないだ、変化のある楽しい間取りとなっている。部屋数や規模にも余裕があり、念入りに計画された都市型集合住宅になっている。

敷地が狭いなかで、建物をセットバックさせ前面に植栽や車寄せのスペースをとるなど、街並への配慮もされている。戸数が5戸と少数にもかかわらず、管理人住戸を設けたこと、また、住戸規模が大きい割には家賃が低廉であることも評価できる。



- 所在地：福島区玉川4丁目
- 事業者：野田庄(株)
- 設計者：伊藤元建築アトリエ
- 施工者：大新建設工業(株)



プレジオッツ (分譲)

勾配屋根の構成が美しい落ち着いた色調の、調和のとれた外観になっている。

北側には小公園や集会所を設け、植栽計画にも充分配慮がなされているが、南側は建物が道路に接近し、1階駐車場の壁面が続くなど、道路沿いの景観がいささか寂しい感がある。

住戸計画は南に面する間口が広く、各部屋のサイズも比較的ゆったりしており、空中廊下でプライバシーへの気配りをするなど、住む人の側に立ったものとなっている。総合すれば、計画とデザインのバランスの良い充実した住宅である。

大阪湾に近い工場地帯にこのような良質な住宅が確保できることは、今後ベイエリアの発展のため、たいへん有意義である。



- 所在地：大正区鶴町2丁目
- 事業者：日立造船不動産(株)
- 設計者：(株)村本建築設計事務所
- 施工者：日立造船(株)